

戦後教員養成改革と 教養教育

山崎奈々絵 著

2017年
1月刊行!

定価：本体5,200円+税
A5判・上製・290ページ
ISBN978-4-86617-023-7



戦後の教員養成改革の実態を、
教養教育の変遷から
丁寧に見証し
描き出した力作！

はたして一般教養を重視して「師範タイプ」
（視野が狭く社会性に欠け、権力に従順で主体的な判断力に欠ける）
を克服するという戦後教員養成の理念は、
新制の教員養成系大学／学部が発足にあたり
実質を伴っていたのだろうか――。

教育刷新委員会の議事録や各大学の沿革史はもちろん、
IFELや大学基準協会などの動向、戦後初期の師範学校、
再編後の教員養成系大学のカリキュラムや
教員組織といった細部までを検証し、その実相に迫る！

推薦のこぼれ

船寄俊雄（神戸大学）

著者の山崎奈々絵さんがまだ大学院生の頃に学会発表を聴いたことがある。日本教師教育学会の場だったろうか。ずいぶん昔のことであるが、教員養成の歴史研究を志す若手の出現が嬉しかったことが印象に残っている。発表テーマが「戦後教員養成改革と一般教養の位置づけ」であったこともよく記憶している。研究の初志を貫き、こうして形にするまでの苦労を想像するだけで頭が下がる。教員養成研究の分野は基礎的な研究の蓄積が決して厚くないだけに、本書のような基礎的で「硬派」な研究の登場は喜ばしい限りである。

「あとがき」に本書につながる初発の問題意識として、自身の高等学校までに教わった先生たちへの違和感が語られている。曰く「私がいままで学校の先生に感じてきた押しつけがましきようなものはいったい何だったのか」と。その違和感は、「のびのびした雰囲気のある大学で、なぜ自分が息苦しさを感じてきたような学校の先生が養成されるのだろうか」、「学習指導要領など学校教育を枠づけているものや、政治的活動の制限など教員のあり方を枠づけているものまで相対化して問う力は、はたして現在の教員に求められているのだろうか」、戦後教員養成は「視野が狭い、社会性に欠ける、権力に従順で主体的な判断力に欠ける」師範タイプの克服ができなかったのではないかとつぎつぎと深まり、「一般教養を重視して『師範タイプ』を克服する」という戦後教員養成の理念が、教員養成系大学・学部発足当初から実質を伴っていなかったことを実証するという本書の課題に発展する。養成すべき資質・能力としてその実践性が強調される昨今の教員養成のあり方に一石を投じる好著である。味読を薦める。

六花出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-28

電話：03 (3293) 8787 FAX：03 (3293) 8788 <http://rikka-press.jp> e-mail:info@rikka-press.jp

序章

- 本書の目的
- 先行研究の検討
- 研究の方法と構成

第Ⅰ部 制度改革をめぐる議論

第1章 戦後初期の教員養成論の到達点

- 教育審議会の審議
- 教育科学研究会の小学校教師論
- 日本教育家委員会報告書
- 米国教育使節団報告書

第2章 教育刷新委員会の審議

- 教育刷新委員会の概要
- 「大学における教員養成」原則の成立
- 学芸大学構想の登場と具体化
- 学芸大学構想の再確認

第Ⅱ部 制度改革の具体化

第3章 師範学校におけるカリキュラム改革と大学レベルのカリキュラム案

- 師範学校におけるカリキュラム改革（東京第一師範学校・大阪第二師範学校・福岡第一師範学校・静岡第一師範学校・群馬師範学校など）
- 大学レベルのカリキュラム案

第4章 I F E L の研究活動

- 教員養成のための研究集会
- 第一〜三期 I F E L における教育学部教授講習
- 第六期 I F E L における小学校管理および指導に関する講習
- 第九期 I F E L における教員養成カリキュラムに関する講習

第5章 大学基準協会の研究活動

- 教員養成系大学・学部に関する基準
- サーベイ・コースの位置づけ

第6章 文部省・大学設置委員会の構想

- 文部省の制度構想
- 大学設置申請に関する文部省の指示
- 大学設置委員会の構想

第Ⅲ部 教員養成系大学・学部におけるカリキュラムと教員組織の形成過程

第7章 カリキュラムの形成過程

- 大学設置委員会案と各大学案にみる小学校教員養成と中学校教員養成の関係性（大学設置委員会案・大阪学芸大学案・福岡学芸大学案・静岡大学案）
- 一九五二年度「東京学芸大学カリキュラム」の形成過程
- 日本教育大学協会第二部「カリキュラム研究全国集会報告書」
- 文科・理科区分と学芸課程設置の意味
- 岡山大学教育学部にみる小学校教員養成と中学校教員養成の関係性

第8章 教員組織の形成過程

- 設置申請から発足初期の教員組織（神戸大学・東京学芸大学・愛知学芸大学・大阪学芸大学・福岡学芸大学）
- 教育学部・文理学部との関係をめぐる問題（静岡大学・山口大学・岡山大学）

終章

- 総括
- 先行研究に対する知見
- 今後の課題

あとがき

参考文献・資料一覧

【著者紹介】

山崎奈々絵（やまざき・ななえ）

1980年、東京都に生まれる
2010年、お茶の水女子大学大学院
人間文化研究科博士後期課程単位
取得満期退学
現在、聖徳大学大学院教職研究科准教授



*小社は注文制です。お近くの書店にご注文ください。
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。 電話 03(3293)8787 FAX 03(3293)8788 電子メール info@rika-press.jp

注文カード

帖合・書店名

〈八木書店経由〉

注文数

冊

発行 六花出版 山崎奈々絵 著

戦後教員養成改革と「教養教育」

定価 本体五、一〇〇円＋税 ISBN 978-4-86617-023-7

お名前

電話番号

注文 年 月 日